

NPO 法人

松江あけぼの会 だより

令和2年10月発行

発行：特定非営利活動法人松江あけぼの会

★就労継続支援 B 型 松江あけぼの作業所

(住所：松江市西川津町2652-13)

★地域活動支援センターあけぼの

(住所：松江市西川津町2651-4)

電話：0852-27-7745 FAX 同

## 収穫の夏を終えて・・・

今年の夏も、ブルーベリーの収穫に大忙しでした。梅雨明けが遅かったせいか実の熟し具合が遅く、7月に入ってから本格的な収穫となり、9月1週目まで収穫できました。

今年は、市成 27.3 kg、本庄 301.1 kg、大根島 198.3 kg、合計 526.7 kgの収穫量で、昨年より多い収穫量となりました。市成の木がだんだんと高齢化してきた代わりに、大根島の木が成長し成熟期にさしかかってきました。大根島はあけぼの会で苗を植えて育てたものなので、それが大きく育っていることはとても嬉しいことです。

## あけぼの作業所



今年は、新型コロナウイルスの流行があり、一般の皆様のブルーベリー狩りはできませんでしたが、利用者さん達は何回かに分けてみんなが摘み取りの作業も行いました。収穫したブルーベリーは、粒の大きさごとに選別し、テルサの福祉ショップや県庁のチャレンジショップで販売しました。個人的に注文される方も年々増えてきて、嬉しい限りです。また、夏に収穫したブルーベリーを冷凍しておいて、1年間を通してジャムに加工して販売しています。みんなの思いのこもったブルーベリーを、いろいろの人に味わっていただきたいと思っています。

暑い中の収穫！



みんなで協力して選別！



500g 750 円(大粒)

150g 300 円(特大粒)

## 島大より2名の実習生さん

島根大学人間科学部の学生さんが、精神保健福祉士の資格を取るために、それぞれ12日ずつ実習に来られました。共に作業をしたり利用者さんと話をしたりと、二人ともとても熱心でした。あけぼの作業所での経験が、今後に活かされることを願っています。

最初は緊張と不安でいっぱいでしたが、充実した12日間でした。皆様とたくさんお話しさせていただき、学ぶことが多かったです。ブルーベリー狩りや七夕会も楽しい思い出となりました。

(実習生 内藤)

作業を通して皆様とかがわることができ、毎日が楽しい実習となりました。ジャム作りも丁寧にコツをおしえていただき大変印象に残りました。バーベキューが延期になったのは残念でした。

(実習生 福田)

# 地活あけぼの



作業所の利用者さんが、休憩に毎日利用しておられます。特に昼休憩には、たくさんの方がセルフカフェを利用して話をしながらゆったりと過ごされ、午後の作業に向かわれます。

7月からは、毎週金曜日にみそ汁作りを始めました。指導員と利用者さん（毎回交代で）で、みそ汁を作り、昼食時に10円で提供しています。具をいろいろ変えて、毎回大好評です。

地活玄関の壁面は、折り紙の得意な利用者さんが毎月アイデアを出してくれて、みんなで飾ることで、季節を感じています。また、季節のイベントとして、8月には「七夕会」、10月には「お月見会」をしました。9月には、「今年の夏もがんばったね会」としてバーベキューを計画しましたが、台風の関係でゲームしかできず残念でした。代わりに昼食に牛丼とデザートでの慰労となりました。

## 壁面掲示で季節を感じて・・・



## みそ汁作り



## 七夕会



願いがかないますように！



### 七夕釣りゲーム

いっぱい釣って、景品をゲットするぞ！



流れてくるそうめんは涼しそう！



## 今年の夏もがんばったね会



9マスのあてゲーム  
高い点数をねらうぞ！

## お月見会



おとうふ入れて  
団子を作ったよ！

